

生活者

生活と政治をつなぐ情報紙

通信

No.371
2022.8.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASK ビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.net
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可

生活者ネットワーク3つのルール

1

議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2

議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3

選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や努力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

地域ネット

府中ネット

「給食からの革命」(2019フランス)上映会
8月11日(木) 14:00~16:00 府中市市民活動センタープラッツ第3会議室(京王線府中駅)
500円 主催:府中地域協議会 090-9374-7452 (にしの)

小金井ネット

記録映画上映会~平和を守るため、過去の戦争に学ぼう!
8月11日(木・休)「イラク戦場からの告発」他、12日(金)「没収された原爆フィルム」、13日(土)原爆記録映画「予言」、14日(日)証言—侵略戦争「泥にまみれた靴で」 全日13:30開場 14:00上映
マミンカの家(小金井市緑町3-14-13/東小金井駅北口からココバスで5分/小金井公園入口下車)
無料 定員:15人 要申込み 主催:小金井・生活者ネット平和部会 080-5007-9407 (中嶋)

江戸川ネット

ひとみとみつえと井戸端会議(毎月第3木曜日)
8月18日(木) 20:00~ Zoom 江戸川区議の伊藤ひとみ・本西みつえとZoomでのお話し会 03-5607-5975

練馬ネット

夏休み子ども工作企画「紙粘土でパフェを作ろう」
8月19日(金) 10:00~12:00 勤労福祉会館職業講習室兼会議室(西武池袋線大泉学園駅)
講師:山本知津子(絵画教室主宰) 対象:3歳くらい~小4くらい(未就学児は保護者同伴) 300円(材料費、保険代等) 定員:15人 03-3993-4899

狛江ネット

親子で学ぼう お子様向け性教育講座 まいでい母さんのお話会
8月27日(土) 14:00~15:30 狛江市中央公民館和室(小田急線狛江駅)、28日(日) 10:00~11:30 同公民館講座室「子どもの性教育」大切なのは感じているけど、どんな風に何から伝えたいの? そんなママへ お子様とママの初めての性教育お話会。年中さん(5歳くらい)~小3(兄弟姉妹の参加は小6まで可) 500円(一家族) 定員:親子10組 主催:狛江地域協議会 m.and.m.and.ryu@gmail.com (トリー)

練馬ネット

9条スタンディング(毎月9日)
9月9日(金) 12:00~13:00 練馬駅中央南口(西武池袋線・都営大江戸線) 主催:生活者ネット9条の会 03-3993-4899

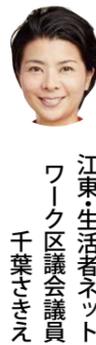
生活者ネットワークは東京都内34の自治体にあり、都議1人、市・区議40人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。
東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



子どもと保護者、教員を支える作業療法士の活動が注目されている。オンラインで開催した学習会に全国から50名を超える参加が、講師に迎えた、右から二人目が佐々木清子さん(東京保健医療専門職大学教授)、三人目が畠山久司さん(同学助教)、江戸川区議の本西みつえ(右)、江東区議の千葉さきえ(左)とともに。7月3日

「できた」をふやす!作業療法士の支援

書くことが苦手な子どもには、鉛筆の持ち方はどうか、姿勢が崩れていないか、どのくらいの文字をまとまりとしてとらえているかなど、つまずきの要因を見つけてみます。文具の工夫や斜面台を机に置くといった工夫、さらにバランスや姿勢の保持力を高める運動を取り入れるなど、細かく工程を分けてそれぞれの段階にあった方法を見つけ、繰り返し練習します。できることをひとつずつ増やすことで子どもは自信を取り戻していきます。



江東・生活者ネットワーク区議会議員 千葉さきえ

今回の学習会でも明らかになったように、作業療法士は子どもの発達を支えとなり、子どもと関わるすべての人をエンパワーする、学校には欠かせない専門職です。教育と福祉の連携で学校での作業療法士の活用を、さらに行政に働きかけていきます。

都内では練馬区や小平市で作業療法士の巡回による学校訪問支援が行われています。小平市では特別支援教育総合推進計画を策定し、市独自に支援の充実を図っています。言語聴覚士と同様に作業療法士のニーズは高く、専門的な助言が求められています。スクールソーシャルワーカーなどの職種と連携しインクルーシブな環境をつくっています。

子どもが現在の機能のまま、補助具の使用などすぐにはできない工夫を行い、「頑張らなくてもできる」支援のあり方が大切です。

を行う力にも注目します。感覚に敏感、逆に刺激を感じにくいなど、特性はさまざまです。対策も異なります。子どもの能力を引き出す遊びや活動、道具の提案とともに、子どもへの関わり方や発達への理解を促し、安心して過ごせるように働きかけていきます。

ひろがる学校訪問支援



STOP! 泊原発 泊原発3号機(プルサーマル)における営業運転再開について、北海道議会において産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会が開催される直前に他団体とともに、再開反対を訴えた(2011年8月16日、北海道庁前)

可否を問う道民投票条例」制定の直接請求運動を展開。103万筆の署名を集めたものの、道議会では2票差で否決されてしまった。以来、市民ネットワーク北海道は、「核と人類は共存できない」と一貫して脱原発を活動の重要な柱に掲げ取り組みを進めている。東京電力福島第一原発では、3.11事故発生から11年が経過するが、未だに高濃度の放射能汚染水の漏出が続いている。さらに大量の汚染水の海洋放出を行うとしているが、放射能の再汚染を許してはならない。東電及び国は事故の責任を取るべきであり、原発再稼働を含めた脱炭素社会は本末転倒である。

核も原発もない社会を次世代につなぐため、立地自治体を超えて「原発はいらない、命が大事」の声をあげ続けよう!



佐藤典子 市民ネットワーク北海道共同代表/元札幌市議会議員

学校でいかに作業療法

学習に集中できない、読み書きが苦手など、学習につまずきを感じている児童生徒が増え、学校現場での支援の必要性が高まっています。このような状況のなか、作業療法を学校でいかに子どもの発達を支える実践がひろがっています。区内にあり、江東区と福祉連携協定を結んでいる東京保健医療専門職大学作業療法学科の佐々木清子さん(同学教授)と助教の畠山久司さんに、子どもの発達支援について聞きました。

子どもとその周囲を支える作業療法

日本では、子ども支援の分野で活動する作業療法士はわずか3%。アメリカでは20%が学校に常駐し子どもの行動を日々観察

し、支援にあたっています。学校での作業療法士は子どもだけでなく、保護者、教員も支える存在。問題行動があるとされる子どもを観察し、子どもに関わる教師や保護者などから何に困っているのか、解決に向けてどんな

工夫をしているのか、何を大事にしているのかを丁寧に聞き取り、ともに考えます。子どもの行動の理由を心理面だけではなく、感覚や運動、環境の情報などをとらえて分析し、学習や行動、生活に関する具体的な対策を提案、支援を行うことで、子どもの発達を促します。

Information

具志堅隆松さんのハンストを応援する集い

8月13日(土) 19:00～ 文京シビック地下1階アカデミー文京リクリエーションホール(春日駅、後楽園駅) お話:具志堅隆松(沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」) 500円 実行委員会 090-4703-8169 (福田)

歴史意識の現在と朝鮮人強制連行

ヘイト団体による歴史の改ざんをとめよう!ねりま集い 8月27日(土) 13:30～ ココネリ3階区民・産業プラザ研修室1(練馬駅) お話:外村大(東京大学大学院教授) 500円 ヘイトスピーチ許さない・練馬/練馬教育問題交流会/憲法骨抜きNO!ねりま/戦争に協力しない!させない!練馬アクション 090-5208-5803(池田)

2022参院選を終えて

松尾あきひろさん(東京選挙区)及ばず つじもと清美さん(比例区)、鬼木まことさん(比例区)当選

7月10日、参議院議員選挙の投票が行われました。東京・生活者ネットワークは、東京選挙区は立憲民主党の松尾あきひろさん、全国比例では辻元清美さん、鬼木まことさんを推薦。地域ネットとともに、総力をあげて応援しました。結果は、松尾さんは落選(6人区で8位)。一方、全国比例では辻元さんは圧勝。「2枚目の投票用紙にはつじもと清美!」「参議院に女性議員を!」と訴えた生活者ネットの熱意が市民のみなさんに届きました。

選挙戦最終日の前日、安倍元首相が狙撃され死亡するという予期せぬ事件が起きました。いかなる理由があろうとも、人が人を殺める行為は犯罪であり、正当化することはできません。この衝撃から、各陣営とも選挙戦が失速した感に否めず、私たちは改めて民主主義の尊さ、言論の自由の大切さを痛感します。そもそも今回の選挙は、憲法、物価高、原発、防衛費、分断・差別と貧困、社会保障等、私たちの暮らしに直結する切実な問題と政治の未来を託すに足る議員を選ぶ重要な選挙、熟議・決定できる議会にしなければならぬ選挙でした。「1強」体制であることが「政治の安定」ではないのです。しかし、残念ながら与党が過半数を超え、「改憲勢力」が非改選議席と合わせ国会発議に必要な参院の3分の2を確保してしまいました。立憲民主党が議席を減らした一方で、憲法改正、原発再稼働に前向きな日本維新の会が票を伸ばした結果を重く受け止める必要があります。

生活者ネットワークは、身近な生活から声をあげ、女性の視点で政策提案することで政治を変えてきました。今後も、子ども、若者、女性、障がい者、高齢者、LGBTQ、定住外国人等、多様な視点で当事者の声を政治につなぐ、ローカルから政治を変える力になります。



山内れい子代表委員ほか、生活者ネットの議員が勢ぞろいして、辻元清美さんを応援。6月27日、武蔵小金井駅前

参議院議員選挙【東京・生活者ネットワーク推薦候補】結果

Table with election results: 2022年7月10日投票結果, 全国の投票率, 東京選挙区選挙, 比例区選挙, 松尾あきひろ, つじもと清美, 鬼木まこと, 立憲民主党 政党得票総数, 政党名での得票数

新しい道路整備のバリアフリー環境はまだまだかならず、電動自転車でも振動なく移動でき、車

道路の段差はどうか

新しい道路整備のバリアフリー環境はまだまだかならず、電動自転車でも振動なく移動でき、車

視覚障がい者用信号機の認識は

信号機に反応するアプリをスマホにインストールしておくと、認知した信号機にタッチするだけで、渡る時間も延長されます。

点字ブロックはなぜ黄色なの

昼間、赤は目立ちますが、暗くなる目には黒く映り、見えにくいため、昼夜問わず認識しやすい黄色が使用されています。

今回の法改正では、公立小中学校も新築、増改築の場合、バリアフリー義務化に加わりま

た。この改正に「教育的な効果がある」と杉浦さんは期待しています。「公立小中学校で障がいのある子もいじめに学ぶことで、障がいや自分たちの問題として捉えられるようになる心の教育が進めば、障がいや環境のあり方だけでなく、社会や環境のあり方だけでなく、思いを私たちが地域に広げていきます。

東京・生活者ネットワーク

都議会REPORT

看取りの環境づくりを自分らしく最期を迎えたい

東京・生活者ネットワーク都議会議員 岩永やす代 [国分寺市・国立市]



住み慣れた自分の家で最期を迎えたいという声を多く聞きます。どこで最期を迎えたいかは一人ひとりが異なる思いを持つっており、個人の希望を実現させるための体制づくりが急務です。

生活者ネットワークは、かねてから自宅で療養生活を送るためのチームによるケアの充実、在宅療養を支えるしくみを提案してきました。自宅だけでなく、地域にある「住まい」で、一人ひとりにあった看取りや介護を受けながら、家族のように少人数のアットホームな環境で自宅にいるように暮らせる場として、ホームホス



生活者ネットワークは当事者だけでなく、介護する人、ケアラーの存在、困難にいち早く着目し、実態調査や政策提言を進めてきた。ケアする人も大切にされる社会へ「ケアラー支援条例」をくわしくつなぐ。ケアラーに聞く「聞き取り調査」を共有する報告会を開催した。4月13日

み、地域の協力も得ながら入居者本人の暮らしと命だけでなく、家族の生活を支えています。

電動自転車ユーザー 杉浦貢さんと歩く心のバリアフリーに気づきあおう



椅子は視界が低いので遮る電柱がないのは何より安全な環境です。

「バリアフリー義務化」で、暮らしはどうなるのか

東村山・生活者ネットワークが継続開催する、市民に開かれた対話の場「ハテナサロン」。今年度第1弾のテーマは、「心のバリアフリー」。電動自転車ユーザーの杉浦貢さんを講師に迎えて、杉浦さんと一緒に歩くまちのバリアフリーを皮切りに、ハード・ソフト、その両面に潜むバリアに気づき、バリアフリーな開かれたまちづくりについて共有する場となりました。

まちのバリアフリーから始めよう!

杉浦貢さんを講師に、東村山駅東口から東村山さくら通りをバリアフリー。一緒に歩きながら、さまざまな発見がありました。改修は進みましたが、改修した施設の運用や、障がいのある利用者への対応が不十分という声があり、ハード面だけでなく、ソフト面の「心のバリアフリー」の推進を、大きく打ち出しているのも特徴です。

杉浦貢さんとバリアフリースタート。6月25日



編集後記/福島原発事故の責任を問うため、事故当時の経営者に対し、事故によって生じた損害額を東電に弁償するように求めた株主代表訴訟で、7月13日、東京地裁の朝倉佳秀裁判長は、勝俣恒久元会長ら4人に、「13兆3210億円を支払え」との判決を言い渡した。原子力事業者には「万が一にも事故を防止すべき社会的・公益的義務がある」と明示。この判決が、他の電力事業者への警告にもなることで、脱原発への歩みが進むことを切望する。(上坂)

都政NOW 区市とつなぐ